

## 日本人2名へのアゼルバイジャン「進歩勲章」の授与

2019年10月18日に発出された大統領令「電力分野での功労者への『進歩勲章』（タラギ・メダル）の授与」により、日本政府の円借款案件であるシマル発電所建設事業に長年尽力された東電設計の佐藤光行氏と三菱日立パワーシステムズの守満聖夫氏が同勲章を受勲しました。

「タラギ・メダル」の「タラギ」はアゼルバイジャン語で「進歩・発展」を意味しており、同勲章は国家に様々な分野で貢献した方々に贈られます。

お二人の長年の熱意とご努力により無事完成したシマル発電所は、アゼルバイジャンの発展と国民生活の向上とともに、日本とアゼルバイジャンの友好協力関係の発展にも大きく寄与するものです。

### （参考）シマル発電所建設事業

#### シマル・ガス火力複合発電設備1号機建設

環境への負荷低減、天然ガス有効利用並びに電力供給の増強及び安定化を図るため、既存の石油火力発電所（150MW）から天然ガスを燃料とする複合発電所（400MW）に転換するプロジェクトで、2003年10月に完了しました。

#### シマル・ガス火力複合発電設備2号機建設

安定的な電力供給力の拡充及び効率性工場を図り、電力不足の緩和及び同国経済の成長を持続的なものとするため、電力需要が集中するアゼルバイジャン東部のアプシェロン半島地域において、設備出力400MWのガス火力複合発電所及び関連送電設備を建設するプロジェクトで、2019年9月に完了しました。



シマル・ガス火力複合発電設備2号機



「進歩勲章」を受勲した佐藤氏（左）と守満氏（右）